

変革期の目録法（年間まとめ）

渡邊隆弘（帝塚山学院大学）

watanabe@hcs.tezuka-gu.ac.jp

1. 今年度の「情報組織化研究グループ」¹

●昨年度の研究大会発表

渡邊隆弘「新しい目録規則から得られるもの：機械可読性の視点から」²

- ・2009-2010 年度の研究テーマ： 新時代の目録規則
- ・「機械可読性」の観点から、RDA 及び MARC21 の RDA 対応を評価
- ・直後に LC “Bibliographic Framework Transition Initiative” …

●今年度の研究テーマ： 「変革期の目録法」 2011.2.22 記

2010 年 6 月、RDA (Resource Description and Access: AACR2 の後継規則) がついに刊行されました。しかし、MARC フォーマットの改訂や実装テストは今も続いており、FRBR/FRAD ベースの新たな目録がどのような形で実際運用されるのかは必ずしも見えていません。また、IFLA からは FRSAD (主題典拠データの機能要件) が発表されて FRBR シリーズが出そろったほか、ISBD 統合版もパブリックコメントを経て刊行に向かっています。

一方わが国でも、2010 年 9 月に JLA 目録委員会が NCR (日本目録規則) の抜本的改訂に向けての方針文書を発表し、次代の目録規則への動きが本格的にはじまりました。NCR は書誌構造 (書誌階層) をはじめとして独自の特徴を持っていることもあり、RDA 等の模倣だけでは済ませられず、検討すべきことは多くあると考えられます。

当グループでは 2009-2010 年度、「新時代の目録規則」をテーマとしてきました。FRBR、国際目録原則、RDA などを取り上げ、また 2010 年度は科学研究グループとの連携を得られたこともあり、「東アジアの目録規則」について拡大月例研究会を催すこともできました。このところ 2 年を単位として方向性を少し変えることが多かったのですが、目録法の変革をめぐってはなお検討すべき問題がまだ多く残されていると感じています。

2011 年度は「変革期の目録法」を年間テーマとし、引き続き目録法・目録規則の展開に関する考察を行っていきたいと思います。

●科学研究費 (H21-23)

基盤研究 (C) 「情報環境の変化に適切に対応する目録規則の在り方に関する研究」

課題番号 22500223

研究代表者：渡邊隆弘 研究分担者：吉田暁史、田窪直規、松井純子、研谷紀夫

¹ グループ活動記録等は <http://www.tezuka-gu.ac.jp/public/seiken/> に蓄積

² 渡邊隆弘「新しい目録規則 (RDA) から得られるもの：機械可読性の視点から」『図書館界』63(2), 2011.7. p.114-121

●グループ月例研究会

- *2011.3.12 学術情報サービスのメタデータ・デザイン
大向一輝（国立情報学研究所）
- 2011.4.16 Dublin Core のころ
杉本重雄（筑波大学）
- 2011.5.14 ML A連携について：情報組織化をも意識して
田窪直規（近畿大学）
- 2011.6.25 FRBR 研究会の取り組み：著作同定作業の試み
谷口祥一（筑波大学）
- 2011.7.16 20 世紀前半の米国におけるアーカイブズと図書館の関係：
目録・分類法を中心に
坂口貴弘（京都大学大学図書館）
- 2011.9.24 国立国会図書館の典拠データ提供の新展開
大柴忠彦（国立国会図書館）
- 2011.10.22 識別と記述のフレームワーク
宮澤彰（国立情報学研究所・総研大）
- 2011.11.19 KOSMOS III における目録システムの設計：
Aleph を KS III として稼働させるために
古賀理恵子（慶應義塾大学メディアセンター本部）
- 2011.12.18 まとめ（本日） 渡邊
書誌コントロールの新たなフレームワークに向けた課題整理
和中幹雄（大阪学院大学）
- (予) 2011.1.28 GUI を用いた関連語編集機能とメタデータへの関連語登録機能を実装し
た Digital Cultural Heritage の実践例
研谷紀夫（東京大学）

●日本図書館研究会研究大会発表（予定）

- ・研究大会： 2/19（日）～20（月） 於：兵庫県中央労働センター
- ・「グループ研究発表」： 2/19 午後（発表 20 分・質疑 10 分）
- ・和中幹雄「書誌コントロールの新たなフレームワークに向けた課題整理：
JAPAN/MARC 頒布開始から 30 年が経過して」
『図書館界』64(2), 2012.7 に論文執筆予定

2. 「整理技術と書誌情報」の2011年

* 『図書館年鑑 2012』の準備から...

● 「整理技術と書誌情報」の2010年³

<p>国際的動向</p> <ul style="list-style-type: none"> RDA 刊行、レコード作成テストプロジェクト IFLA : FRISAD 発表、ISBD 統合版のパブリックコメント募集 OCLC : WorldCat 利用ポリシー問題の決着 Linked Data の動き <p>「公共的書誌情報基盤」</p> <p>調整の動きと、NDL 「新着図書情報」</p> <p>その他国内動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 三大ツール委員会 : NCR 改訂方針、分類調査の発表、目録調査の実施 NII : NACSIS-CAT ガイドライン、「事前登録書誌」、VIAF のテスト、CiNii、WebcatPlus 強化、junii2 ガイドライン NDL : MARC21 化へ、WebNDLSH、DC-NDL 改訂、NDL サーチ その他 : カーリル、Librahack 事件、次世代 OPAC

● 今年は...

2011	海 外	国 内
Jan.	<p>【LC】 :ジャンル/形式標目再配布計画 (1/5)</p> <p>【LC】 典拠 Linked Data に地名、言語等を追加 (1/5?)</p>	<p>【NII】 NACSIS-CAT/ILL 運用ガイドライン (1/11)</p> <p>【NDL】 新着図書情報の RSS 提供</p>
Feb.		<p>【他】 カーリルローカル (2/1)</p>
Mar.		<p>【NII】 システムの計画停電対応</p> <p>【NDL】 博士論文の遡及入力完了</p>
Apr.	<p>【RDA】 PCC タスクグループの RDA 実装ディスカッションペーパー (4/4)</p> <p>【他】 PersID プロジェクト報告書 (永続識別子)</p>	
May	<p>【LC】 Bibliographic Framework Transition Initiative (書誌フレームワークの変革の検討開始) (5/13)</p> <p>【IFLA】 「全国書誌の主題アクセスに関するガイドライン」の Worldwide Review (5/15)</p> <p>【OCLC】 WorldCat Local 機能強化(リゾルバ等) (5/18)</p> <p>【LC】 ジャンル/形式標目独立作業実施 (5/24)</p>	<p>【NDL】 JAPAN/MARC MARC21 フォーマット (5/6)</p> <p>【NDL】 ゆにかネット統合方針 (5/9 付)</p> <p>【NII】 TRC/MARC 流用による試行登録作業結果 (5/19)</p> <p>【他】 川村敬一氏の BSO 解題書誌</p> <p>【総務省】 「新 IT 利活用」プロジェクト報告公開</p> <p>「次世代書誌情報の共通化に向けた環境整備」</p> <p>「メタデータ情報基盤構築事業」</p>

³ 『図書館年鑑 2011』 p.117-119

June	<p>【LC】 MADS Ver.2.0 (6/2)</p> <p>【RDA】 LC 等国立図書館の RDA 対応文書 (6/13)</p> <p>【RDA】 RDA 導入テスト報告書 (6/20)</p> <p>【他】 英国”Open Bibliography”プロジェクト成果公開</p>	<p>【NII】 Webcat 終了予定の告知 (6/17)</p> <p>【NDL】 書誌データにおける個人情報の取扱い</p> <p>【他】 Code4Lib Japan パーマリンク提言 (6/23)</p> <p>【他】 九大、Cute.Search、Cute.Catalog ベータ版 (6/28)</p> <p>【NDL】 NDL サーチの OAI-PMH 対応 (6/30)</p>
July	<p>【IFLA】 ISBD 統合版の刊行</p> <p>【他】 W3C LLD Incubator G の報告書ドラフト (7/1)</p> <p>【LC】 MARC21 改訂 (いくつかの RDA 対応) (7/19)</p> <p>【他】 仏 Sudoc の書誌データ LOD 公開</p> <p>【OCLC】 WorldCat Identities Network プロトタイプ</p>	<p>【NDL】 NDL Web Authorities (7/7)</p> <p>【NII】 NACSIS-CAT/ILL ワークショップ (7/20-22)</p> <p>【NDL】 講演会「MARC21 フォーマット」</p>
Aug.	<p>【RDA】 RDA Vocabularies 公開 (8/1)</p> <p>【RDA】 JSC ワシントン会議 (テスト勧告対応) (8/5)</p> <p>【IFLA】 ISBD 統合版 Full Examples</p> <p>【LC】 NAF (名称典拠) の LOD 公開</p> <p>【OCLC】 報告書 “WorldCat Quality”</p> <p>【OCLC】 WorldCat40 周年 (8/26)</p>	<p>【NII】 和古書統一書名典拠規則のバブコメ (8/1)</p> <p>【他】 筑波大 OPAC、検索ログからキーワード推薦機能</p> <p>【他】 東大、スマートフォン向け OPAC ベータ版</p>
Sept.	<p>【RDA】 European RDA IG 発足 (9/27)</p>	
Oct.	<p>【OCLC】 WorldCat Local 新機能 (ローカル連携等)</p> <p>【他】 オラクルが Endeca 社を買収</p> <p>【他】 W3C LLD Incubator G 最終報告書 (10/25)</p> <p>【LC】 Bibliographic Framework Initiative General Plan</p>	<p>【NDL】 NDL サーチと J-GLOBAL の連携</p>
Nov.	<p>【RDA】 ドイツ国立図書館が JSC 参加表明</p>	<p>【他】 『情報の科学と技術』特集：典拠・識別子</p> <p>【NII】 CiNii Books、Articles に全文検索 (11/9)</p> <p>【他】 カーリルスマートフォン版 (11/10)</p> <p>【他】 Project Next-L Enju Leaf Ver.1.0.0</p> <p>【他】 FRBR 研究会「著作ページ」</p> <p>【NDL】 「平成 24 年 1 月からの JAPAN/MARC データの提供」 (11/24)</p>
Dec.	<p>【OCLC】 OCLC WorldShare</p> <p>【IFLA】 「全国書誌の主題アクセスに関するガイドライン」確定予定？</p>	<p>【NDL】 DC-NDL 改訂 (12/1)</p> <p>【NII】 日本語古典作品の統一書名典拠規則</p> <p>【NII】 特殊文字・特殊言語の取扱い</p>

